

思春期の心と体 ～異性への憧れ～

【プログラムのねらい】

社会環境の変化による情報の氾濫などから、性意識の変化や性行動の多様化が進んできています。思春期は、性や異性に興味を持ち始める時期です。親として、人間としての在り方、生き方をどう子供に伝えていくか、ワークを通して考えることをねらいとしています。

【プログラムの展開例】（時間 60 分程度）

	○進め方 ◎ことばかけ	留意点
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> ○自己紹介をします。 ○プログラムの主旨説明をします。 ○アイスブレイクで、参加しやすい雰囲気づくりをします。 	<ul style="list-style-type: none"> ○4～5名でグループを編成します。 ○和やかな雰囲気を作り、話し合いが活発にできるようにします。
展開 40分	<p>「ワーク1」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎エピソードを読んでみましょう。 ◎自分自身の思春期のこと、エピソードを読んで感じたことを書いてみましょう。 ◎お互いにどのようなことを感じたか話し合ってみましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ワークの中で話される個人的な情報の扱いについて注意するよう伝えます。 ○ワークはファシリテーターが読み上げても個人で読んでもよいです。 ○書き込みが終わったら、グループ内で書き込んだ内容について話し合ってもらいます。
	<p>「ワーク2」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○思春期とは……について、資料を見ながら説明する。 ◎中学3年生のお子さんの親になったつもりでエピソード3について考え、ワークに記入してみましょう。 ◎お子さんの男女交際について、あなたはどのように考えますか。付箋紙に書いてみましょう。 ◎グループの人が書いたものを、理解する気持ちと心配な気持ちに分けてみましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○資料を使って、思春期の子供の様子について説明します。 ○当事者になって考えるよう促します。 ○一人一人、付箋紙に書いてもらいます。 ○グループで協力して、理解する気持ちと心配な気持ちに付箋紙を分類してもらいます。

	◎分類したものをみて、話し合ってみましょう。	○分類された書き込みをもとに、どのように考えるかグループで話し合ってもらいます。 ○グループが複数できるようならば、グループの意見を発表し合ってもよいです。
	「ふりかえり」 ◎子供に伝えたいこと、伝えるために心がけたいことを書いてみましょう。 ◎書いたことをもとに話し合ってみましょう。	○親として、人間として子供に伝えたい思いを考えてもらいます。 ○書き込みが済んだら、グループ内で発表し合ってもらいます。
まとめ 10分	◎今日の学習のまとめをしましょう。 ○参加者一人一人に今日の学習を通して考えたことや感想を発表してもらいます。	○今日の学習を振り返り、特に印象に残ったことを中心に発表してもらいます。 ○発表を共感的に受け止め、発表に対して簡単にコメントします。 ○発表された感想等をもとに、プログラムのねらいに沿った話でまとめていきます。

【参考】埼玉県警ホームページ

(http://www.police.pref.saitama.lg.jp/kenkei/110_soudan/soudan/sisyunnki/sisyunnki.html)

「思春期の子供を持つ親へ」

パート6 思春期の心理と行動の12ポイント

パート7 性の問題と親の対応

《パート6》思春期の心理と行動の12ポイント（抜粋）

- ① 自我の目覚め……………第2次性徴の始まりなど、身体生理及び心理・社会的変化により、自分は「子供ではない」といった自覚が生まれる。
- ② 自我の比較……………自分のことへの関心が高まると同時に、他人のことが気になり、比較するようになる。
- ③ 自己概念の揺らぎ……………自分についての知識（自己概念）が、他人の評価で左右されやすくなる。そのため、自分のことを過大視したり、逆に必要以上に過小視することがある。
- ④ 自我同一性の拡散……………自分の取るべき態度や行動に確信が持てず、考え方や態度が変わりやすい面もある。
- ⑤ 自己拡大感……………大人の知らない知識を得たり、大人以上にできる能力をもつため、それなりの自信を持ってくる。